

BeautiBond Xtreme



医療法人社団 誠友会
さくデンタルクリニック
作 誠太郎先生

レジセム EXおよび 前処理剤としての ビューティボンド Xtreme の評価



臨床現場の声を
お届けします。



近年、ボンディング材の接着力は目覚ましく向上し、歯科保存領域ではミニマルインターベンションの観点から最小限の侵襲によって修復できるコンポジットレジンが多く臨床に用いられている。中でも、松風社製のビューティフィルシリーズはフッ素を含む6種類のイオンを徐放するS-PRGフィラーにより、抗プラーク性や歯質強化などが期待され、治療後において二次う蝕の予防に大きく関与すると報告されてきた。

今回発売されたビューティボンド Xtremeは、ボンディング層をS-PRGフィラーのイオンが通過することからS-PRGフィラー配合製品と組み合わせて使用するのに適したボンディング材であり、1ボトルで様々な被着体のボンディング処理が可能であるという私たち臨床家にとっては大変有用な材料であると言える。

一方、当院ではう蝕治療のため間接法で製作される修復物の合着には、松風社製レジセムを使用してきた。これまでのレジセムは支台歯に対しては二液性の処理を行い、被着体に関してはその材質により、それぞれ前処理が必要であった。

今回、ビューティボンド Xtremeと同時に発売されたレジセムEXは、支台歯に対しても被着体に対しても前処理材はビューティボンド Xtreme1本というシンプルな接着システムとなっている。レジセムの高い透明性・操作性を踏襲しつつ、硬化性・色調安定性に優れる常温保存可能なデュアルキュア型であり、かつS-PRGフィラーを配合していることから二次う蝕の予防に関与することが期待できるレジンセメントである。

今回は、レジセム EXおよび前処理材としてのビューティボンド Xtremeに対する評価を行なったので症例でご紹介する。

症例

1

右上第一大臼歯のゴールドインレーをセラミックスインレーにリメイク希望にて来院。
既存インレー除去後、セラミックスインレーを装着することにした。



1-1

右上第一大臼歯の
ゴールドインレー。
第二大臼歯の咬合面には小窩裂
溝う蝕が認められる。



1-2

ゴールドインレー除去し、
形成を行う。



1-3

セラミックスインレー装着時。
窩洞と補綴装置にビューティボ
ンド Xtremelにて前処理を行い、
レジセム EX クリアにて合着。
照射を3秒行い、余剰セメントを
除去し、その後、再照射にて硬化
を進める。



1-4

レジセム EX クリアの使用により象
牙質色が透過して天然感が得られた。

症例

2

左下第一大臼歯の金パラインレーのリメイク希望にて来院



2-1

左下第一大臼歯に比較的広範囲な
金パラインレーが存在。



2-2

金パラインレーを除去し、形成を行う。



2-3

セラミックスインレー試適時



2-4

セラミックスインレーセット時
窩洞と補綴装置にビューティボ
ンド Xtremelにて前処理を行い、
レジセムEX アイボリーにて合
着。照射を5秒行い、余剰セメ
ントを除去し、その後、再照射にて
硬化を進める。



2-5

装着後。試適時に比較して
審美的である。

今回で紹介したレジセムEXは、前処理材はビューティボンド Xtreme 1本とこれまでのレジンセメントに比較してその操作は簡便化されている。さらにどちらも常温保存が可能なることから、装着時の患者の疼痛がこれまでのレジンセメントと比較して少なく感じられた。加えて最も興味深いことはS-PRG技術によるう蝕予防効果であり、今後の経過を観察していきたい。最後になりましたが、これまで多くの材料を提供していただきました(株)松風の皆様に敬意を表します。

取扱い店



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/京都(075)757-6968/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

www.shofu.co.jp

2104BJJSI